

平成30年度第2回東成区区政会議 子ども・教育部会

1 開催日時 平成30年12月4日（火） 19時10分から20時25分

2 開催場所 東成区役所3階301会議室

3 出席者の氏名

【委員】

田中 良和（議長）、末光 京子、茶谷 儀夫、永門 武志、福永 美和子、藤井 宣昭、山口 晴康

【東成区役所】

井上 徳久（まちづくり担当課長）、松穂 好純（まちづくり・教育支援担当課長代理）、大野 孝文（児童・保健担当課長代理）、石野 靖子（保健福祉課担当係長）、太田 全昭（市民協働課担当係長）、大藪 陽子（総務課担当係長）

4 委員に意見を求めた事項

平成31年度東成区運営方針（素案）について

5 議事内容（発言者氏名及び個々の発言内容）

【大藪係長】 皆様、こんばんは。本日はお忙しい中、また大変などしゃ降りの足元のお悪い中お集まりいただきましてありがとうございます。私は進行を務めさせていただきます東成区役所総合企画担当の大藪でございます。

それでは、東成区区政会議第2回部会を早速始めてまいりたいと思います。まず冒頭に、区長の麻野よりご挨拶をさせていただきます。

【麻野区長】 改めまして、区長の麻野でございます。いつもお世話になっております。よろしくお願いします。

皆様方には市政、区政各般にわたりまして、平素より特別なご配慮、ご支援賜わっておりまして、本当にありがとうございます。また、つい先日、11月23日になりますけれども、2025年の万博、大阪開催が無事決定いたしました。ほんとうに皆様方のご支援、ご協力の賜物だと思っております。改めてお礼申し上げたいと思っております。どうもありがとう

ございました。

その万博ですけれども、実は万博の開催目的としましてSDGs、英語で「サステイナブル・ディベロップメント・ゴールズ」とちょっと長いですが、日本語でいいますと「持続可能な開発目標」というのがございます。私もこのバッジをつけているんですが、いろんな社会課題の目標が17に分けられて、これをしっかりとみんなで追っかけていこうという目標になっております。これは17個を1個1個今日説明している時間はないんですが、福祉、健康ですとか、子育て、教育、防犯、防災、産業振興、それから環境問題、こういった普段から私たちが議論して取り組んでいる課題が17個に分かれているというものでございます。万博においては、こういうものに科学技術ですとかいろんな施策を通じて、草の根レベルから大学、あるいは研究の工業技術、そういったところも含めて、しっかりとオールジャパンで対応しているということを示していくような万博になるんだと思います。

今日も皆様方には、これは子ども・教育部会ですので、教育、子育てについてご議論いただくんですが、今日お配りしている運営方針の資料にも、皆様方には2番のところについてご議論いただくことになると思います。詳細は後ほど課長から説明させていただくんですが、この右上についている四角のマークがあるんですが、これがSDGsのマークでございまして、17個のうち、子育て・教育は4番が教育になっている、という感じで出てきます。これはお配りしているんだよね。

【大藪係長】 はい、お配りしています。資料3です。

【麻野区長】 資料3の②番の教育と子育て支援のところの右側に4番と17番という四角がありまして、この4番が教育施策という形になっております。

東成区におきましては、4番に対してはグローバルな教育の課題について議論していきましょうという話なんですけれども、当区におきましては教育、子育てと2つジャンルを分けておりまして、教育に関しては国際理解教育、プログラミング、あるいは体力といったことを今、施策として打ち出しているところでございます。それから子育てについては、これは従来からございます、すくすく・つながるクラブを中心に、お父さん、お母さんのネットワークづくり、子育てのネットワークづくりをしっかりとやっていこうという形で、支援を進めていこうと考えている次第でございます。

今日はちょっと人数が少ないんですが、その分しっかりと皆様方のご意見をお伺いしようと思っておるところでございます。活発なご議論をお願いしたいと思いますので、

よろしくお願いいたします。どうもありがとうございます。

【大藪係長】 それでは本日の開催状況でございますが、委員 13 名中 5 名の出席をいただいております。また、お後 3 名の方が遅れて来られる予定となっております。また到着されましたら紹介させていただきます。

次に、本部会の公開についてですが、区政会議に準じて公開となっております、議事録や写真等についてもホームページ等で公開していく予定でございます。その点、ご理解のほどお願いいたします。

もう 1 点、お願いでございます。携帯電話につきましては電源をお切りいただくか、マナーモードにさせていただきますようお願いいたします。

本日の出席者につきましては、皆様の机上に配付しております資料 1、配席図のとおりとなっておりますのでご確認ください。池田委員につきましては、本日所要のため欠席のご連絡をいただきました。

続きまして、資料の確認をさせていただきます。まず、事前にお送りしました資料です。こちらは 4 種類ございます。資料 3 としまして平成 31 年度東成区運営方針（素案）及び概要版です。次に、資料 4 として平成 30 年度区政会議における意見への対応状況です。そのほか、平成 30 年度東成区区政会議 質問・意見票と、クリップ留めしております平成 30 年度東成区区政会議委員アンケートについてでございます。このアンケートですが、区政会議の効果的な運営を行うために、毎年区政会議委員を対象に実施しているものでございます。まだご記入がお済みでない方は、本日お帰りまでにご記入いただきまして、出口の回収箱に出していただきますようお願いいたします。

次に、本日机上に配付しております追加資料です。こちらは 6 種類ございます。まず、次第です。次第の裏面が進行表となっております。資料 1 として、先ほどご紹介しました配席図、資料 2 が東成区区政会議委員名簿です。次に、資料 5、平成 29 年度東成区区政会議委員評価報告についてという横長の資料です。最後に 2 点あります。広報紙ひがしなりだよりの 12 月号です。あと、学校教育施策に係るアンケート用紙、以上 6 種類でございます。皆様、資料の不足はございませんでしょうか。ないようですので、進めさせていただきます。

今、末光委員と藤井委員が到着されました。

ただいま 2 名ご到着されまして、13 名中 7 名のご出席をいただいておりますので、したがって区政会議の運営の基本となる事項に関する条例第 7 条第 5 項によりまして、本

部会が有効に成立している旨、ご報告申し上げます。

では、資料の確認のところまでいきましたので、今資料説明させていただきました資料5について補足説明をさせていただきます。横長のグラフの入っている資料でございます。机上でお配りしている資料になります。ございますでしょうか。

こちらは、6月の区政会議で実施しました、昨年度1年間の東成区の区政運営に対する委員の皆様から頂戴しました委員評価の集約結果でございます。結果としましては、ちょうど全体をめぐっていただきますと、最終ページのところに、全体評価になっているんですけども、結果としましては委員の82%の皆様より、東成区の5つの経営課題に基づく取組が、区の目指す目標の実現に対して有効だと、「思う」、「やや思う」という回答をいただきました。一方、委員の12%の皆様からは、有効であるとは、「あまり思わない」、「思わない」という厳しい回答を得ております。

いただきました委員の皆様方からのご意見をしっかり受け止め、今後の区政運営に反映させてまいりますので、引き続きのご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。

それでは、田中部会議長に今後の議事運営をお願いしたいと思います。よろしくお願いいたします。

【田中議長】      こんばんは。雨の中、ご苦労さんでございます。

この部会は、教育環境と子育て支援の充実にかかわって、皆様方が意見や提案を述べる会議ということになっております。前回、区政会議で出された意見については、できるものから区政運営への反映を行い、本日の議題であります平成31年度東成区運営方針（素案）に反映していると伺っております。31年度運営方針は、区政会議で出された意見や市会での議論等を踏まえて、平成31年4月に確定するようです。本日も皆様から前向きなご意見をいただき、有意義な会議にしていきたいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。

進行表に基づいて、時間割があります。この後、初めの15分は区役所からの説明をいただきます。その後、19時40分から20時10分までの30分間は、非公開として自由な意見交換。いつものとおり、議事録に載らないという会議にさせていただきます。そして、20時10分から意見集約を行いますのでよろしくお願いいたします。

それでは、資料3、平成31年度東成区運営方針（素案）概要というA3判の写真入りの資料、及び広報紙のひがしなりだより、12月をご覧ください。それに沿って区役所よりご説明をいただきます。資料3はこれですね。郵送で送ってきた分だと思います。これ、前

回、「何が特典あんねん」と言うてた「すくすく・つながるクラブ」なんかも、このひがしなりだよりの中に、こんなんありますよというのを載せていただいていたしまして、早速やっていただいとるなということで喜んでおります。

では、役所の説明をお願いいたします。

【松穂課長代理】      どうも皆さん、こんばんは。市民協働課教育支援担当課長代理の松穂でございます。本日、課長の井上なんですけれども、まだ到着してないんですが、区内のほかの会議が重複しておりまして、それが終わり次第こちらに参りますので、ご理解のほどよろしくお願いいたします。

では、平成31年度東成区運営方針（素案）についての説明を始めさせていただきます。座って説明させていただきます。

私からは、お手元の資料の平成31年度東成区運営方針（素案）概要、こちら、資料3の右側の②「教育環境と子育て支援の充実」の上段でございます、「良好な教育環境づくり」につきまして、順を追って説明させていただきます。初めに、「区長と学校長との意見交換、教育行政連絡会の開催」でございますけれども、こちらにつきましては6月に開催いたしました前回の部会でもご説明申し上げましたけれども、小中学校との連携のかなめとして、学校長と区長・副区長との率直な意見交換の場として定期的に行っているところでございます。当区が企画、実施しております教育関連の支援事業についての進捗状況をタイムリーに情報提供いたしまして、校長先生方に評価をいただくとともに、好事例の共有を行うなど、密な連携に努めているところでございます。

次に、2つ目の、「学校協議会への参加」についてでございます。学校協議会は大阪市の教育改革の一環といたしまして、開かれた学校運営を実現し、よりよい学校教育を推進するために全ての学校園に必ず置くこととされた、各学校園と家庭や地域をつなぐための組織でございます。そこに区役所もオブザーバーとして参加させていただいているところでございます。

次に、今年度も実施しております、「国際理解教育の取組みを支援」と、1つ挟みまして、「体力向上の取組みを支援」とある部分についてのご説明をさせていただきます。こちらにつきましては、本日追加で机上に配付させていただきました広報紙ひがしなりだより12月の記事をもって説明させていただきたいと思っております。5ページをお開けください。5ページ、このような記事のところでございます。

まず左側の、「国際理解教育の取組みを支援」についてでございます。ブルーの囲みの国

国際理解教育支援事業をご覧ください。国際理解を進めるためにさまざまな国の文化を学ぶ機会をつくる取組みといたしまして、独立行政法人国際協力機構 JICA と連携をして、来日中の海外技術研修員との交流でありましたり、海外ボランティア経験者によります出前講座を通じて、児童生徒の国際理解教育を進めているところでございます。

次に、「体力向上の取組みを支援」についてでございますけれども、右端のオレンジの囲みの子どもの体力向上事業をご覧ください。昨年度に実施いたしました「みんな de スポーツ教室」をきっかけといたしまして、今年度からは児童が運動やスポーツに取り組むきっかけをつくり体力向上を図るための取組みとして、学校ごとのニーズに合わせた体力づくり、水泳、跳び箱、鉄棒など、各種目の専門的な知識を持った指導者を招いて直接指導してもらうことで、各種目の技術的なコツだけでなく、スポーツの楽しさや協調性の大切さも学んでいただきました。そして、一過性にならないように指導ノウハウを学校での指導に取り入れてもらうべく、フィードバックの部分につきましては特に私どもは力を入れて取り組んでいるところでございます。

最後になりましたけれども、もう一度この資料 3 に戻っていただきたいんですが、「プログラミング教育の取組みを支援」というところにつきましてご説明させていただきます。このプログラミング教育の支援なんですけれども、平成 29 年の 3 月に告示されました文部科学省の新学習指導要領におきまして、2020 年度、つまり平成で言いますと 32 年度より小学校のプログラミング教育の全面実施、つまり必修化することがここで示されております。プログラミング教育といいますのは、いわゆるプログラマーを育成するための事業ではございません。子どもたちにコンピューターに意図した処理を行うように指示することができるということを体験させながら、将来どのような仕事に就くとしても、時代を越えて普遍的に求められる力としての「プログラミング的思考」というものを育成するものとされています。

この「プログラミング的思考」なんですけれども、今もう身近な生活にはコンピューターが活用されているわけなんですけれども、このコンピューターに自分の考えとおりの動きをさせるためにはどのような動きを組み合わせたからいいのかということを学ぶもので、課題の解決にはそのようないろんな手順、必要な手順があるということを論理的に考えていただく力を育むものでございます。

各小学校では、これまでから ICT を活用した授業を推進するために、タブレット端末の配備であったり、インターネットの接続環境の整備に取り組まれているところでござい

ます。2020年度に向けまして、今プログラミング教育を立ち上げる初期段階にあるわけなんですけれども、児童は日常的にプログラミングに触れる機会というのが少ない状況にございます。そこで、東成区としてスムーズかつ質の高いプログラミング教育を推進するために、夏休みの特別講座の開催など、児童が自主的に学習する機会の創出と協力スタッフの育成に取り組んでまいりたいと考えているところでございます。

協力スタッフなんですけれども、地域の人材を積極的に活用したいと考えておりまして、以前この「子ども・教育部会」でご指摘いただいております地域人材の積極活用にも寄与できるものと考えているところでございます。

「良好な教育環境づくり」の説明につきましては以上でございます。

最後に1点、追加のご説明をさせていただきたいと思います。前回、第1回目の部会の際に、29年度の運営方針の報告の中で、学校等との連携強化についてのアンケートの設問内容を教えてほしいといったご意見を頂戴したところでございます。つきまして、本日実際に使用いたしましたアンケート用紙、机の上に配らせていただいております。このような、A3で1つになっていると思うんですけれども、アンケートの現物を配付させていただいております。本年の3月に全小中学校を対象に実施いたしまして、各校校長に無記名で記載をいただきました。アンケートの説明についての情報提供でございます。

私からの説明につきましては以上でございます。

【大野課長代理】 皆さん、こんばんは。東成区役所保健福祉課 児童保健担当課長代理の大野でございます。いつもお世話になっておりましてありがとうございます。

まず、先ほど司会から配付資料の確認がありましたが、私からも配らせていただいている資料がございまして、確認だけお願いをしたいと思います。まず、コピーで「ひがしなり子育て安心ブック」という冊子と、あと、この青っぽい「ひがしなりっ子すくすく・つながるクラブ」のリーフレットですね。それと、アンケートをクリップどめで2枚配付させていただいております。上が「アンケート調査のお願い」というものと、下が「ひがしなりっ子すくすく・つながるうんどうかい」アンケートというものでございます。皆様方、お手元にありますでしょうか。ありがとうございます。

そうしましたら、着席してご説明させていただきます。

私からも、引き続きまして資料3、素案概要のほうでまずは説明をさせていただきます。

②の「教育環境と子育て支援の充実」の下の方の四角のところ。「地域社会全体で子育て家庭を支援する環境づくり」というところでございます。東成区では子育て家庭が安心して

子育てができる東成区をめざしており、そのためには地域社会全体で子育て家庭を支援する環境づくりが重要であると考えております。

そのための取組みの1つといたしまして、1つ目の黒ちょぼに「ひがしなりっ子すくすく・つながるクラブ」による子育て家庭と地域のつながりづくりの支援ということで挙げさせていただきました。すくすく・つながるクラブにつきましては、この間の部会でもご意見を頂戴しておりますが、前回の部会でクラブに入っていた際のメリットをまとめてほしいというご意見をいただきましたので、簡潔にそちらのご説明をさせていただきたいと思います。先ほど見ていただきました、この青のパンフレットも合わせて見ていただければありがたいですが、めくっていただいて左手になります。

まず1つ目は、居住地の主任児童委員の方と顔見知りになっていただけることです。2つ目は、東成区の子育て支援イベントに参加する時や、区内の子育てサークル、あるいは子ども・子育てプラザ、子育て支援センターを利用する時に、通常はお名前等をご記入いただくのですが、カードを見せるだけで遊んでいただけます。3つ目といたしまして、区内協賛店舗でカードを提示すれば、割引や特典を受けることができることです。この間、広報紙やホームページなどでクラブの認知と登録促進に取り組み、今年の10月末現在の登録者数は1,899名となっております。

次に、つながるクラブの協賛店舗についてでございます。先ほども議長からご紹介いただいたんですが、ひがしなりだよりの12月号の8ページをご覧くださいませでしょうか。前回の部会の中で、協賛店舗をもっと増やしてほしいとのご意見をいただきました。東成区商店街連盟連合会にもお願いをさせていただきまして、個別に店舗も回らせていただき、結果、前回の部会では協賛店舗が22店舗でしたが、現在は30店舗となっております。内訳につきましては、閉店と辞退が4店舗、新規登録していただいた店舗が12店舗、その差し引きで現在は計30店舗ということになっております。

また、協賛店舗がステッカーを貼っていても小さくて、店の後ろに貼ってあったら見えないので、ステッカーを大きくペナントみたいなのにしてはどうかとのご意見をいただきました。こちらが店舗にお配りしておりますステッカーです。こちらがポスターです。新規店舗に登録していただきましたら、この2つをお渡しさせていただきまして、店舗に貼っていただくようお願いをしております。当初、協賛店舗には今ご覧いただいたステッカーとポスターをお渡しして、店舗に掲示していただくようお願いしておりますが、お店の事情によって掲示をできていなかったり、店内や店先をコーディネートされているた

め、どうしてもステッカーやポスターが見えにくくなっている場合もあるようでございます。前回のご指摘も踏まえまして、各店舗に見やすい場所に掲示していただくように、再度協力依頼をこの間してきたところでございます。

また、いただいたご意見のステッカーの大きさ等の変更についてですが、まだ在庫もあることから来年度予算では計上しておりませんが、次回作成時には検討してまいりたいと考えております。

続きまして、資料3に戻っていただきまして、2つ目の黒点のところです。「子育て支援情報の発信やイベントの開催」というところでございます。子育て支援情報の発信につきましては、現在広報紙はもちろんのこと、若い保護者の方に有効でありますホームページやフェイスブック、メールマガジンでも子育てに必要なさまざまな情報を発信しております。フェイスブックのフォロワー数やメールマガジンの登録人数も増加しておりまして、認知度も高まってきていると考えており、引き続き同様の手法を使った情報発信をしてまいりたいと考えております。

また、イベントや乳幼児健診等で子育て世帯へのアンケート調査を行い、どんな情報が欲しいかなどのニーズを把握するなどした上で情報誌を企画作成し、母子健康手帳交付時や乳幼児健診、子育てサークルなどの機会を活用して配付することで、広く情報をお届けしていきたいと考えております。皆様方の手元にお配りさせていただいておりますこちらが、その情報誌になります。今回は部数の都合で皆様に原書をお渡しすることはできないんですけれども、こちらが子育て層にお配りしております情報誌になります。

また、イベントにつきましては、子育て家庭と地域社会のつながりづくりを支援するため、親子の遊び場でありますとか保護者の交流、相談の場となる子育てイベントを開催し、その際に各地域の子育てサークルや子育て支援センターも紹介をさせていただいております。

今年度、平成30年度に実施したイベントをご紹介しますと、6月に予定していた各地域の子育てサークルを紹介する「子育てふれあいサークル大集合」につきましては、大阪北部地震の関係で中止になりましたが、同じく6月に区内の保育所などの子育て支援施設の情報を提供する「ひがしなりっ子すくすく・つながるフェア」のほうは、保育園、保育所、幼稚園、認定こども園の合同説明会というものを初めて開催いたしまして、153世帯の参加がありました。

9月には広い場所で体を使う遊び場を提供しつつ、ボランティアで協力していただいて

いる地域の方との交流を図る「ひがしなりっ子すくすく・つながるうんどうかい」を開催し、こちらは子ども100名の定員に対し、100名の申込みがありました。当日はそれぞれのご都合もあり、88名の子どもの参加となってしまいましたが、いずれも好評でございました。

また、子ども・子育てプラザが主催で、区役所共催でプラザを利用したことがない子育て家庭にプラザを紹介し、利用促進するため、深江小学校で「プラザ・フェスタ in 深江」を10月に開催いたしました。こちらは250名の参加がありました。来年3月には区民センターで「プラザ・フェスタ」も開催を予定しております。

今年度の取組みも多くの方にご参加いただき、地域等とのつながりづくり、子育て家庭の交流、相談の場の提供につながったと考えておりますので、来年度も引き続き同様のイベントを開催してまいりたいと考えております。

子育て支援の充実については以上でございます。

次に、前回の部会で平成29年度運営方針の振り返りについての報告の際に、29年度の達成状況としてアンケートの結果をご報告させていただきました。その際、教育のほうと同じように、アンケートの設問を次回に提示してほしいというご意見でしたので、クリップ留めの2枚のアンケートの、こちらを皆様方に配付させていただいております。

オレンジと黄色のマーカーを付けさせていただいております。まず、上に「アンケート調査のお願い」と書いてある分なんですけれども、こちらの3番目の①のところにマーカーをさせていただいております。こちらのアンケートの結果なんですけれども、子育てを支援するイベントへ参加したことのある子育て中の区民の割合、こちらは29年度の目標が60%以上にさせていただいていたんですけれども、結果、実績が67.6%という結果でした。

もう1点、両方のアンケート用紙のオレンジ色の部分なんですけれども、こちらにつきましては区役所からの子育て情報が充実していると感じる区民の割合、こちらの目標も当初60%以上にさせていただいておりましたが、実績が87.2%という報告を前回させていただきました。今回そちらのご報告をさせていただきます。

あと、前回の部会で、区民の方にお配りしている子育て支援関係の配付物を見せてほしいというご意見もいただきました。今回はこちらなんですけれども、区民の方の母子手帳交付前の面接というのがございまして、そちらの母子手帳を交付する際に、区民の方へのこの袋に入っている一式の手引書でありますとか、区役所からの案内とかをお渡しさせていただいております。ちょっとこれも部数に限りがございますので、各委員に一袋ずつ配付す

ることはできませんが、これから回覧させていただきますので、中身を見ていただければ非常にありがたいです。

【永門委員】 回覧せんでも、そこに並べたら。入ってる物、そこに並べたら。

【大野課長代理】 並べさせていただきます。

こちらは、こういうふうにセットさせていただいているんですけども、保存版ということで、あっちこっちに行かないように、極力大事な資料をファイリングさせていただいております。先ほどコピーを配らせていただきましたこの情報誌でありますとか、出産された際の出生届でありますとか、各手当の案内等を付けさせていただいております。それと、子育ていろいろ便利帳という大阪市で出している、ここにさまざまな、こういうことはどうしたらいいのという回答のようなものも書いておりますので、それをワンセットにしてお配りさせていただいております。

それとあとは、こちらの案内的なものなんですけども、妊婦さんのマークでありますとか、一応こういうサービスがありますよという案内文章になっております。

あとは、これも両方大阪市から発行しております、大阪市の「すくすく」という、中にいろんな行政サービスの案内とかの分と、あと、「～赤ちゃんとの出会い～わくわく」という赤ちゃんが生まれたときにお風呂の入れ方でありますとか、気になる状態があった時という中身のこういう冊子がこの袋の中に一式入っております。

すいません、大変長くなりまして申し訳ありません。私からの説明は以上です。ありがとうございました。

【田中議長】 ありがとうございました。

それでは、ただいまの説明を受けまして、皆さんから質問やご意見をいただきたいと思っております。我々がお願いしたことは順次このように提出していただいたり、見せていただいたり、また、ひがしなりだよりに載せていただいたりということでやっておりますので、これ、意見も出しがいもあるかな、このように思いますので、一つどうぞよろしくをお願いします。

意見を整理しますのに、ホワイトボードに板書して共有したいと思っております。区役所の方のご協力、サポートをよろしくお願いいたします。

時間が少ないんですが、今からは先ほども申し上げました非公開の勉強会ですので、ご自由に発言してください。

<部会での自由な意見交換>

【田中議長】       じゃ、ありがとうございます。時間が経過しておりまして、これをもって勉強会は終了といたします。

先ほど申し上げましたとおり、これからの議事の記録を再開し、部会からの意見としてまとめるに移っていききたいと思います。

ホワイトボード、皆さん、見えますかね。見えますか。見ていただけますか。出されたご意見のうち、部会報告として取り上げたいものについてマークをつけていきたいと思います。一人ずつご発言をお願いできますでしょうか。

すくすく・つながるクラブと教育環境のほうと分けたいと思います。大体真ん中で分けてくれてはるんです。まず、それじゃ、「良好な教育環境づくり」のほうから行きたいと思っています。いかがでしょうか。

【末光委員】       何か取捨選択しないといけないんですか。全部では。

【田中議長】       今回はこれをメインにしようかということでお願いできたら。

【末光委員】       1つだけ選ぶんですか。

【田中議長】       1つでも2つでもいいんですけど。

【末光委員】       全部選んじゃだめなんですか。

【田中議長】       全部選ぶんですか。せっかく出たからね。

【永門委員】       せっかく書いてるけど、教育のアンケートって、これ、別に無意味やと思うけどな。

【田中議長】       とりあえずこれがいいなというのをマークしてもらいましょうかね。お一人1つずつ。永門さんから。

【永門委員】       そしたら、私、プログラミングかな。

【田中議長】       一番上？

【永門委員】       一番上。

【田中議長】       じゃ、すいません、正ちゃんマークか何かにしてもらえますか。

【永門委員】       教育者へのアンケートは別に不要やと思うな。それは学校内で話し合いをすればいいことやから。先生にアンケートを聞いても、集めて何があるんやという。それで学校単位で意見をまとめて出せばいい話で。

【田中議長】       茶谷さん、すいません。

【茶谷委員】 私も今の1番でいいと思います。

【田中議長】 末光さん。

【末光委員】 じゃ、私、学校協議会。

【田中議長】 福永委員さん。

【福永委員】 スマホの取り扱いというのは、それはこちらで取扱いをどういうふうに学校でされるんですかということを問いかけて、学校で話し合っただけで決めたのをこっちに持ってくるという形になるんですか。

【井上課長】 まだスマホのことは公式には一切聞いてないんです。きっと学校安心ルールって決まりましたよね。これが各学校、カスタマイズとなっていたと思います。同じような調整方法だと思われます。絶対これにというのはまずないと思われますので。

【福永委員】 それでいくと、学校協議会、私も参加させていただいているんですけど、お話を聞くと、やっぱり学校校下でやり方が違うなというのを感じるの、もう少し地域の人が参加してもつながりがちゃんとできて、子どもたちにもその地域の人のこともわかってもらえるような取組みの中に協議会も入れてもらえたらいいのかなと思います。

【田中議長】 それ今、補足で下にちょっと書いたら。

学校協議会に参加されている方っておられますか。

(挙手する者あり)

【山口委員】 僕も言い出しべやから、ほんまはプログラミングに入りたいんです。学校協議会でお願いします。

【田中議長】 藤井委員。

【藤井委員】 僕も、でも最後に言うたスマホの取扱いがちょっと気になる場所なんです。まだでも正式にこれからやと思いますので、とりあえず今は、学校協議会もかなり気になる場所ですけども。

【末光委員】 課題としては残しておいて、今は時期尚早ということで、将来的にはやっぱり見ていかないとけない課題なんじゃないかなと思うので。

【藤井委員】 スマホね。ちょっとまだ、スマホは反対意見なんですけど、プログラミング、言い出しっぺなのでやっぱり。

【田中議長】 この2つを主な2つとして取り上げさせていただきます。

あと、スマホの取り扱い、これはちゃんとどういうふうにするかというのが、多分大阪市の教育委員会なり、出てくると思いますので、それを見て、次回になるのかその次にな

るのか、そのときに取り扱い、スマホの件をまた上げたいなと思います。

それから、じゃ、こっちの、子育て支援、環境づくりなんですけど、もう先ほど。

【山口委員】 あのとおりで。

【田中議長】 あのとおりでよろしゅうございますね。

【末光委員】 そんなに大きくはないと思うんですよね。よくでき上がってきていると思います。

【田中議長】 我々がお願いしたことが随時、順々にやっていただいておりますので、あと店舗数の拡大を一踏ん張りお願いしたい。

【山口委員】 頑張っていると思いますね。

【永門委員】 アンケートの回収率、高いんちゃうか、21から。

【田中議長】 私も近所の店舗にまたお願いしておきます。

【末光委員】 この店舗の中で、片江校下が1個しかなくて、非協力的なんかな、みたいに思ったんですけど、お店が嫌とか。

【大野課長代理】 そういうことはないです。

【田中議長】 ただ、子どもさん向けやから、紳士服のところとかは案外受けへんのかな。そういうなんがあるんでしょう。その辺もどういうところが考えていただいて。

【末光委員】 お店が少ないというのもあるんですけどね。

【田中議長】 でお願いしたいと思います。

プログラミングの教育、タブレットの数の確保と。

それでは一通り意見を整理いたします。ホワイトボードをご覧ください。印を付けておるものを取り上げさせていただきます。まず、本日、「教育環境と子育て支援の充実」について意見を出し合いましたところ、次の意見が出されました。

まず、教育環境の充実に関して、1つ目、プログラミング教育。その理由なんですけど、タブレット数の確保。児童数の予測をし、タブレット数を確保する。これは予算があるので、市に要請していただくということになるかと思います。

2つ目、学校協議会です。地域の参加の意味。学校によって違うんですけども、地域の参加で学校教育を外から見るといっても含まれているのかなと思います。また、内容や進め方の工夫をされればどうかと。学校に仕事量が増えたんじゃないかというご意見でございました。よろしゅうございますか。

(「はい」の声あり)

【田中議長】 それから次に、子育て支援の充実に関しましては、すくすく・つながるクラブです。お願いしたいのは、店舗数の拡大。主任児童委員の存在というんですか、目立つように字を大きくするとか、もう少し役所のほうでアピールをしていただくとかいうことになるかと思います。

他に加えておきたいことがございますか。よろしゅうございますか。

(「はい」の声あり)

【田中議長】 それでは皆さん、円滑な議事運営にご協力いただきましてありがとうございました。本日の議題は以上で終了し、区役所の方に進行をお返しいたします。雨の中、ほんとうに大変でございました。人数も過半数を切るかなと思っておったんですけれども、何とか成立しましたので、どうもありがとうございました。

じゃ、すいません、役所のほう、お願いいたします。

【大藪係長】 皆様、活発なご議論をいただきありがとうございました。田中議長をはじめ、委員の皆様方にはスムーズな議事進行にご協力いただき、誠にありがとうございました。本日皆様方からいただきました貴重なご意見につきましては、今後の区政運営での参考とさせていただきます。引き続きご協力を賜りますようよろしくお願いいたします。

なお、次回の区政会議は、3月6日水曜日19時から区民センターでの開催を考えておりますので、ご予約いただきますようお願いいたします。3月6日水曜日19時でございます。詳細につきましては、またご連絡させていただきますので、ご出席のほどよろしくお願いいたします。

これをもちまして、平成30年度第2回東成区区政会議、子ども・教育部会を終了させていただきます。ありがとうございました。